



カレー港

カレー港がセキュリティと監視のための赤外線カメラ設置

国際的な船舶および港湾施設のセキュリティ規則と「トゥケ協定」に準じた密航者の探索

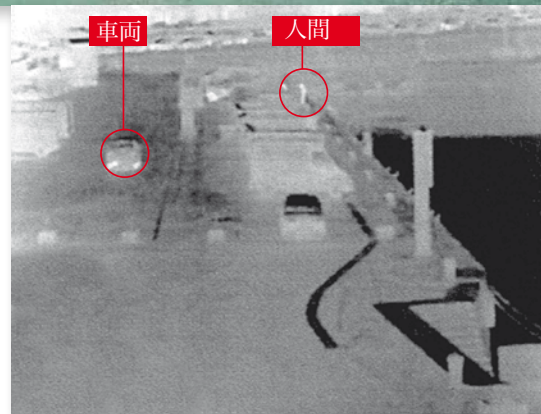
カレー港は世界で最も往来の激しい航路上にある良港であり、特にイギリス本土と欧州間のイギリス海峡における要路です。カレー港には、基本的に大規模なフェリーと貨物や様々な商品の積荷の荷揚げ、荷降ろしを行う近代的な設備が整っています。欧州の道路網や高速列車とのリンクにより、パリやブリュッセルへも90分以内でアクセスできます。

カレー港経由の貨物の運搬も2006年を通して増加し続け、前年度比11.8パーセントの伸びで、1,847,197台のトラックを記録しています。同時にカレー・ドーバー間のルートの貨物交通において、カレーは4000万トン超えという記録的な数字を達成しました。一般貨物を含めると、この数値は4150万トンを超え、2005年と比べると全体で8.4%増です。

しかし、カレー港は、貨物においてのみ重要な港なわけではありません。2006年には、1100万人以上もの乗客がここを通過しています。

イギリス海峡の不法な渡航、妨害行為の防止
この港が安全であるのみならず、乗客や船体および積み荷に対しても安全性を保証することはカレー港の営業権を所有するカレー商工会議所の課題の1つです。

「1994年以降イギリス・欧州本土間にはトンネルが開通していますが、カレー港は着実に成長を続けています。当局の立場から言えば、トンネルへのテロリストの破壊行為のほうがこの港への攻撃よりも可能性は高いです」と語るのは、港湾設備のセキュリティオフィサーであり、セキュリティ部門のマネージャーであるHervé Couret氏です。「しかし、我々としてはこの港を危険にさらすわけにはいきません。不穏な連中がトンネルの警備が堅固であることを知り、その結果、こちらのほうが攻撃しやすいと判断して港を攻撃してくる可能性もあるからです。したがって、この港が安全でセキュリティの高いところであることを示すためにあらゆる手段を講じて港の警護に努めています」



導入された FLIR Systems SR-50 赤外線カメラの1つによって撮影された画像。400m前方の車両と人間が完全な暗闇にもかかわらず鮮明に映し出されています。

欧州とイギリスの間に位置する主要な港であるがために多くの人々がカレー港を経由して非合法にイギリスへの入国を試みます。「我々は、毎日イギリス行きのフェリーに近づこうとする密航者を監視しています。それらが不法行為であるのみならず、それらの行為によって彼ら自身が非常な危険に遭遇する可能性もあり、事故で死亡することもあります。途切れることなく大型フェリーが出入りする港は、小型ゴムボートや泳ぎでの夜間密航に使われる危険な場所です」とCouret氏。

昼間の港湾施設周辺における動きを監視するために40台以上のCCTVカメラが設置されています。これらのカメラから、セキュリティオペレー





カレー港のセキュリティオペレーションセンターのコントロールルーム

ションセンターのコントロールルームでは貴重な情報が入手できます。

カレーの港湾設備: 日夜を通じて安全な場所
しかし、夜間や薄霧、雨や雪などCCTVカメラでは鮮明な映像が期待できないときはどうすればよいでしょうか。

「それについてはすでに6年前から検討し始めていました」とCouret氏。「我々のセキュリティネットワークの仕様書を書いたときは、CCTVカメラやフェンスなどの安全策以外に夜間や天候に左右されずに鮮明な画像が得られるシステムが必要であることをはっきり明記しました。その時点では、遠距離を対象にした赤外線カメラはまだ非常に高価であり、冷却型のシステムが必要でした」



Brice Kerrinckx, Hervé Couret, Olivier Margue, Jean-Marc Massonの各氏

「去年の某展示会で、FLIR Systems製品のフランス国内代理店であり、ビデオによるセキュリティと監視を専門とするAlpha Photonics社のBrice Kerrinckx氏とお会いしたときに、この状況が変わったことを知らされました。現在では、赤外線カメラには、非冷却型のマイクロボ

ロメータによる検出素子が装備されており、遠距離での性能にも素晴らしいものがあります。そのみならず、赤外線カメラは冷却型システムよりも遙かに低価格です。可動部品が使われていないためダウンタイムが短くなり、保守費用も軽減され、製品寿命が長くなっています」

「デモ用の赤外線カメラの仕様では、海面に浮かぶ人間の頭と肩が400m以上離れたところから見える必要があるというものでした。Kerrinckx氏がデモ会場に来られ、FLIR SystemsのSR-50赤外線カメラは簡単にそのテストに合格しました。それでその製品を2台購入することを決定しました」

「2台のSR-50赤外線カメラを標準的なパン/チルト機構に取り付けました。さらに、それをさらにポールに取り付け、高い位置から全体を俯瞰できるようにしました。長距離に対応した性能のため、海峡を非合法に渡航しようとする者を海岸全体にわたって監視することができます。」

既存のTCP/IPネットワークとの統合が容易

導入された2台のFLIR Systems SR-50カメラは、Thales Security Systems社によってカレー港のセキュリティネットワークに統合されました。「FLIR Systems製品は共通の標準規格に準じているため、赤外線カメラをローカルセキュリティネットワークに統合する作業は極めて簡単でした」とThales Security SystemsのOlivier Margue氏。「SR-50カメラは、標準のパン/チルト雲台に取り付けられ、既存のセキュリティセンサのネットワークに組み込まれました。SR-50カメラはすべてTCP/IPネットワークに統合されています。どのクライアントワークステーションからでもリアルタイムで映像を見ることができます。ネットワーク上の他のどのカメラとも同様に、赤外線カメラも標準のジョイスティックで簡単に操作できます」

CCTVを補助する赤外線カメラ

2台の赤外線カメラには非常に満足しています」とCouret氏。「夜間のみならず、昼間も鮮明な映像が得られ、CCTVではやや効率の落ちる

薄霧や雨のときも港湾設備の全体的な映像を得ることができます。港の船舶に非合法に近づこうと試みる者も赤外線カメラが設置されていることを承知しており、そのことを計算に入れています。したがってそこに赤外線カメラがあるだけで、港湾の安全性は増しているのです」

国際的な船舶および港湾施設のセキュリティ (ISPS)

「さらにもう1つメリットがあります。赤外線カメラは、米国の9.11の後に策定された、船舶および港湾施設への脅威に対する安全対策である国際的な船舶および港湾施設のセキュリティ (ISPS) 規則とトゥケ協定およびフランスの法令にも準じています」

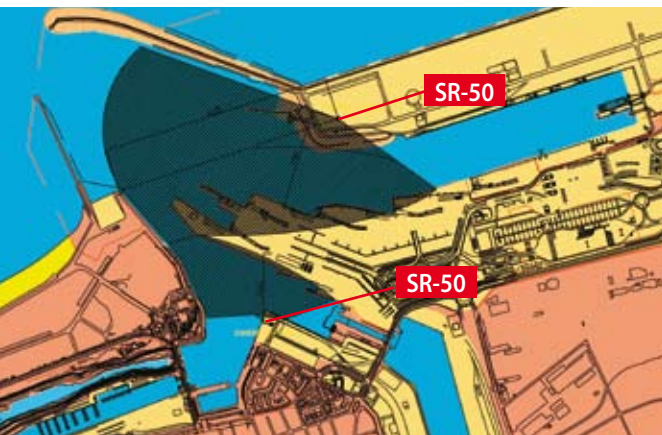
「我々は、今の赤外線カメラに非常に満足しています。カレーの商工会議所は近い将来に港湾の大幅な拡張を計画しているため、今後、それらを検討し、さらに赤外線カメラを増設する必要があるかどうかを評価しなければなりません」とCouret氏。



カレー港に設置されているFLIR Systems社のSR-50カメラの1つ



カレー港



2台のFLIR Systems社製SR-50赤外線カメラは、カレー港の戦略的な場所に取り付けられています。

セキュリティおよび監視用赤外線カメラまたはその用途に関する詳細は、下記にお問い合わせください。

FLIR Commercial Vision Systems B.V.
Charles Petitweg 21
4847 NW Teteringen - Breda - Netherlands
電話: +31 (0) 765 79 41 94
ファックス: +31 (0) 765 79 41 99
メール: flir@flir.com
www.flir.com